

目標	みんなの思いやる心で幸せを感じる「まち」	
Gr	実現方策	付箋の記載事項
A グループ	<ul style="list-style-type: none"> ・地域内交通網が細部まで行き渡り, 生活に不自由をなくす ・高齢者の居場所を作るために人材を活用する ・地域の人材発掘をする (7件) 	<ul style="list-style-type: none"> ・買い物に行けない家庭に「引き売り」がある。 ・地域内交通網が細部まで行き渡る。 ・教養と特性を生かした高齢者が地域の小中学校の授業及び出前講座に参加する。 ・自治会の公民館などで高齢者への出前授業をする。 ・歩いて行ける場所に「居場所」を作る。 ・地域の人材発掘。スカウトスタッフが必要。(自治会長さんなどに聞き込み) ・サポートセンター設置。(地元の外から来たスタッフ・地元の方のスタッフが選択できる)
B グループ	<ul style="list-style-type: none"> ・地域内での相互扶助の地域力を高める ・高齢者が生きがいを持って生活ができる施策の充実を図る ・世代を超えた交流の場をつくる (19件) 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域内での相互扶助の地域力を高める。 ・高齢者に生きがいを持たせる施策の充実を図る。 ・地域内交通の活用。 ・高齢者が安心して暮らせるまちづくりのボランティアの養成を考える。 ・住んでよかったと思える地域づくりが必要。 ・地域内交通の整備を図る。 ・高齢者が生きがいを持って生活できる地域づくり。 ・小学校の空き教室を利用し児童と高齢者の交流の場にする。 ・子供を中心として社会教育を充実させる。 ・世代を超えた交流を深める事業を実施する。 ・高齢者の一元管理体制の確立。(完全独居世帯と2世帯居住独居世帯の区別) ・包括支援センターの有効活用。 ・高齢者の交流の場を増やす。(自治会や地域を広げない範囲での交流の場) ・高齢者の交流の場を増やす。(にこにこくらぶ・地域内の楽しみグループ・学校給食への野菜等の提供) ・公民館等を利用し高齢者の交流の場を図る。 ・高齢者が自ら動き出す交流の場をつくる。 ・移動手段を知ってもらう。 ・集まれる場所をつくり, 知ってもらう。 ・自分の生きがいづくりや皆で楽しめる時間(講座)を知ってもらう。
C グループ	<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民の連携の強化 ・交通弱者の足(移動手段)の確保 ・世代を超えた交流の場の充実 (13件) 	<ul style="list-style-type: none"> ・隣近所への目配りをする。 ・地域住民の連携の強化。 ・これから一人暮らしが多くなるので, 地域での声かけ・外出の場を多くする。 ・各地の民生委員の強化増員。 ・移動手段にて, 図書館・スポーツ施設を回り, 一緒に施設等に興味を持たせる。 ・移動手段を充実させ, 相互交流を図る施設を作る。 ・デマント交通の充実。 ・各種施設利用の足の(輸送)強化。 ・交流の場づくり。(子供からお年寄りの世代を超えたふれあいまつり) ・高齢者と子供達の交流ができる場が必要。 ・登下校時に高齢者・弱者等が声かけや迎えができるようにする。 ・福祉活動に子供たちを携わせる。一緒に行動する。 ・子供達と高齢者との交流の場を増やす。交流場所の提供。

テーマ『福祉, 健康, 安全・安心』 グループ協議結果【健康】 実現方策

目標	健康で生きがいのある生活ができる「まち」	
Gr	実現方策	付箋の記載事項
A グループ	<ul style="list-style-type: none"> ・年をとっても健康を維持するために、気軽に参加できる場所をつくる ・地域で食育を通して交流する <p style="text-align: center;">(5件)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・公園に簡単なアスレチック的な物を設置する。(長岡公園参照) ・年をとっても健康であるためには、身体を動かせる施設があっても良い。 ・おすそ分けできる交流会づくり。 ・地域での食堂等での健康づくり。(ワンコインで) ・食育セミナーを定期的に行なう。(日常に役立つ料理教室)
B グループ	<ul style="list-style-type: none"> ・健康維持向上の健診体制を強化確立する ・地産地消の健康づくりをすすめる ・スポーツの振興と施設の充実を図る <p style="text-align: center;">(15件)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツの振興と施設の充実を図る。 ・地産地消の健康づくりを行なう。 ・スポーツとともに地域の食を学び合う場。(地域包括支援センターで実施の例「にこにこくらぶ」健康全般・食の話・音楽) ・好き嫌いのない食生活をつくりあげる。 ・健康健診体制の強化を図る。 ・健康維持向上の検査・機会を持つ。 ・老若男女が気軽に楽しめるスポーツ教室の推進。 ・春からは田んぼ道を歩こう。 ・スポーツを地域内にPR・参加させる教育をつくる。 ・福祉, 健康に関する生涯学習センターの充実を図る。 ・ウォーキングルートの整備と広報。(マップ) ・集える場所を確保しよう。 ・病院よりは年代別に行える運動をしよう。 ・スポーツで医者通いを減らす。【例】朝夕のラジオ体操(集会) ・健康維持向上の健診体制を強化確立する。
C グループ	<ul style="list-style-type: none"> ・健康づくりをつくる機会をつくる ・地域の農産物を利用した料理の研究 ・参加しやすいスポーツ教室の開催 <p style="text-align: center;">(10件)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・健康づくり・生きがいづくりを考える。 ・体育向上を図る。施策を実施する施設の充実。 ・自然食品が手に入れられるように交通手段の中に入れる。 ・地産地消の拡大。 ・食品の安心を考え、自然品の味付けを考え直し手間をかける。 ・農作物を皆と一緒に手づくりし、一品の料理方法などを色々研究する。交流をする。 ・参加しやすいスポーツ教室の開催。 ・参加しやすく高齢者を含めた誰にでもできるスポーツ大会の開催。 ・体をできるだけ動かせる様に常に考えるようにする。 ・各種スポーツのリーダーの育成。

テーマ『福祉, 健康, 安全・安心』 グループ協議結果【安全・安心】 実現方策

目標	やすらぎのある暮らしができる安全・安心な「まち」					
Gr	実現方策	付箋の記載事項				
A グループ	<ul style="list-style-type: none"> ・公共の交通機関を自由に低額で利用できる ・地域で防犯組織を整備する ・災害に強いまちづくりをする <p style="text-align: right;">(5件)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・公共の交通が自由に低額で利用できる。 ・地域で見守ることができる防災・防犯。 ・各自治会単位に防犯の組織が整備される。例えば「防犯パトロール隊」 ・災害に向けての避難訓練を徹底する。 ・災害に強いまちづくり。 				
		B グループ	<ul style="list-style-type: none"> ・声かけ, 挨拶を通して地域の連携を高める ・防災・防犯・交通安全の強化を図る ・警察・学校・家庭・地域での一体感をつくる教育の実施 <p style="text-align: right;">(13件)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・防災・防犯・交通安全の強化を図る。 ・防犯カメラの設置。外灯設置。 ・声かけ→あいさつ 地域の連携を作る。 ・地域周辺の安心・安全の学びの場を設定する。 ・身近な地域で学び合う場をつくる。 ・人と地域を知る場・機会を持つ。 ・自転車利用のルールを小学生に教育する。 ・地域内安心移動のまち。 ・組織的な訓練をして行こう。 ・防災意識を高め, 自主防災を確立する。 ・警察・学校・家庭での一体感をつくりあげ, 全員が参加。 ・地域ぐるみで防災・防犯対策を行う。 ・交通安全・安心が見える「まち」づくりをしよう。 		
				C グループ	<ul style="list-style-type: none"> ・気軽に挨拶し合える地域づくり ・地域防災に関する勉強会 ・交通・防犯対策に関する教室の開催 <p style="text-align: right;">(12件)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・安心で安全に暮らせる地域づくり。 ・地域防災の計画をつくり, 住民相互の意識の向上を計る。 ・交通安全の推進。・防災意識の向上。・犯罪に強い地域。 ・自転車の左側通行の徹底。(12月1日より強化) ・後期高齢者の交通安全教育の実施。 ・他の通行者との挨拶をすることによる, 防犯の向上を図る。 ・誰でも挨拶し合える雰囲気づくり。 ・消防団に多くの地域情報を提供し, 細やかに交流を持つ体制をとれるようにする。 ・警察官による防犯対策教室を開催する。 ・交通ルール(法規)等の講習会等を開き理解を深める。 ・各地区における交通安全教室を開催する。 ・地域防災に関する勉強会等を実施し, 安心・安全に対する意識を高める。